



No. 90

# こしがやシルバー だより

## 越谷アリタキ植物園

有瀧龍男氏が遺した植物の楽園



まだ日本に樹木園と公称する植物園が無かった時代、父の平太郎氏が築いた庭園「松花園」を引継ぎ、規模を拡大して造られたのが「アリタキ・ア-ボレ-タム」です。戦時中は貴重な食糧を栽培するための畑として、戦後は外国からも多様な樹木が集まる場として実り続けてきました。

越谷市に遺贈後、数多くの方の尽力のもと整備が進み、2010年に「アリタキ植物園」として開園しました。入口では、樹齢100年超えの巨樹「シナサワグルミ」が来園者を出迎えます。



水彩画 作品「シナサワグルミ」望月 邦彦会員(アリタキ緑の会ボランティア所属)

### 目次

- 表紙・・・越谷アリタキ植物園
- P 2・・・令和4年度定時総会開催
- P 3・・・安全・クレーム撲滅標語受賞発表
- P 4、5・・・越谷市シルバー人材センターのあゆみ
- P 6・・・私たちの住む街 出羽地区
- P 7・・・安全ニュース、フレイル予防体操
- P 8・・・入会のご案内、編集後記

発行 公益社団法人越谷市シルバー人材センター  
編集 広報委員会

〒343-0023

越谷市東越谷1-5-6 産業雇用支援施設3F

TEL: 048-967-4311 FAX: 048-962-8300

E-mail [koshigaya@sjc.ne.jp](mailto:koshigaya@sjc.ne.jp)

U R L <http://webc.sjc.ne.jp/koshigaya/>

## 令和4年度 定時総会が開催されました

令和4年6月24日（金）、第42回令和4年度定時総会が開催されました。  
新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴うご来場の自粛要請のため、大規模会場での開催を自粛し、産業雇用支援施設の3階会議室で開催されました。

はじめに吉田種盛理事長から「規模縮小での総会開催にあたり、皆様のご協力に感謝いたします。令和3年度の事業実績につきましては、事業基本方針の一つである会員数の拡大の達成、および契約金額が前年度比増となりました。会員の皆様と発注者様、関係各所の皆様方からのご支援に感謝申し上げます。



理事長 吉田 種盛

令和4年度は、1.安全就業の推進、2.会員の確保、3.財政の安定、4.楽しい仲間づくりSCの4点を事業の柱として中長期計画の推進を図り、引き続き一人一人が新型コロナ感染防止対策を行うことで地域貢献を行ってまいります。」と挨拶がありました。

続いて、吉田理事長による開会宣言ののち、資格審査報告がありました。総会員数1,377名に対し、事前に事務局に届いた891通の委任状および15名の出席者をもって定款に定める定足数を満たし、総会は有効に成立いたしました。

議長選任を行った後、議事に入り、報告事項5件ならびに議案1案件が提示されました。審議の結果、報告事項に異議はなく、議案も原案のとおり可決承認されました。

その後、議長退任ののち、奥山茂子副理事長の挨拶をもって総会は無事終了いたしました。

ここに、感染防止対策にご理解・ご協力頂き、委任状提出による開催方法で無事開催出来ましたことを、会員の皆様方に感謝申し上げます。

### ● 報告事項 ●

1. 監査報告
2. 事業報告
3. 収支補正予算報告
4. 事業計画報告
5. 収支予算報告

### ● 決議事項 ●

1. 令和3年度 貸借対照表及び損益計画書  
(正味財産増減計画書)、財産目録の承認



定時総会の様子

## 安全標語・クレーム撲滅標語 受賞者発表

令和4年度越谷市シルバー人材センターで募集しました、安全標語、クレーム撲滅標語の受賞者を発表いたします。例年定時総会にて表彰式を実施していましたが、縮小開催に伴い紙面での表彰に代えさせていただきます。受賞者の皆様、この度はおめでとうございます！

### ●安全標語受賞者●

金賞：目配りと 気配りこそが 事故なくす  
(桜井地区 長沼 英雄会員)



#### コメント

この度は安全標語の募集に応募したところ金賞の栄をいただきありがとうございます。日頃、勤務するにあたり、ハンドブックに目を通したり自分で注意している事を書きました。これからも安全に充分気をつけて働きたいと思っています。

銀賞：“安全が 最優先”と 持つ自覚  
(大相模地区 田崎 孝一会員)



田崎会員



戸田会員

銀賞：慣れてると 自信過剰で 招く事故  
(桜井地区 戸田 弘 会員)

### ●クレーム撲滅標語受賞者●

金賞：信頼は 仕事と態度 思いやり  
(大相模地区 石井いつ子会員)



#### コメント

信頼されるシルバーとして、常にお客様の目線に立ち就業することの大切さを肝に銘じ、自覚を持ちながらシルバー会員を続けていきたいと思えます。ありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。

銀賞：信頼を わずかなミスが 無駄にする  
(増林地区 中村 次男会員)



中村会員



山杉会員

銀賞：仕事には 基本しっかり 忠実に  
(大袋地区 山杉 道雄会員)

## 連載：私たちの住む街

## 【第7弾 今回は越谷市出羽地区をピックアップ】

出羽とは？天正18年に徳川家康が関東入国すると会田出羽資久が家臣となり、屋敷の一部を越谷御殿の一部として差し出した。明治22年に四丁野村、神明下村、七左衛門村、越巻村、大間野村、谷中村が合併して出羽村になった。

## 出羽公園

総合公園として、体育館、遊歩道、釣り池があり春にはふれあい花壇、チューリップコミュニティフェスタが行われる。



出羽公園

## [出羽チューリップコミュニティフェスタ]



出羽チューリップコミュニティフェスタ

平成15年から、出羽公園を地域のシンボルにと出羽地区コミュニティ推進協議会が主催で毎年4月に開催されている。地域の自治会や小中学校の皆さんが育てたチューリップの鉢植え約5万本が出羽公園を色どる。



三ツ又堰

## 出羽堀

三ツ又堰から綾瀬川までの間、低湿地であった出羽地区の排水路として会田出羽介が開削した。

## 三ツ又堰

ここで末田用水が新川と出羽堀に分かれ、古くからこの地点にあり、堰が三ツ又になっているためにこう呼ばれた。

## 大沼大明神

石の鳥居をもち、明神様、兵主（もののふ）神社と呼ばれている。日露戦争の最中に社から何千、何百の鳩が飛び立ちこの地方出身の人々を守ったと言われている。



大沼大明神

## 観照院

七左町七丁目にある観照院には沼沢地を新田に開発した会田七左衛門の遺徳を偲び村民が奉納したとみられている。

会田七左衛門夫婦座像  
(市指定文化財)

観照院

## 大間野旧中村家住宅（越谷市保存民家）

主屋、長屋門、石倉、土蔵があり伝統的な建築方式で主に古材を利用して復元されている。



大間野旧中村家住宅

出羽地区センター 暮らしと文化「出羽地区今昔物語」より

## 名産品



## 幻のもち米太郎兵衛もち

江戸時代には幕府大奥御用のもち米として御前細餅と呼ばれていた。500年程前四丁野村の名主であった会田太郎兵衛が、もち米の改良に取り組み慶長元年に成功し太郎兵衛糯と呼ばれた。



## 慈姑（くわい）

くわいの名前の由来は、鯉芋、河芋、食われ菌等がある。出羽地区センターでは料理講習会が行われている。

## 安全ニュース

### 安全管理委員会よりお知らせ

## パワハラは許しません！！

いわゆるパワーハラスメント（以下パワハラ）防止法が2020年6月に施行され、2022年4月には中小企業もその対象となりました。

シルバー人材センターの共働・共助の理念からすれば、法の施行を待つまでもなく、パワハラは絶対に許されない行為です。

法律では、パワハラとは以下の定義となっております。

- 優越的な関係を背景とした言動であること
- 業務上必要かつ相当な範囲を超えた言動であること
- 労働者の就業環境が害されるものであること



身体的な暴力だけでなく、言葉による攻撃もパワハラにあたります。

裁判事例を参考にした具体的な例としては「てめえ、何やってんだ」「引きずり倒すぞお前」「給料泥棒」「ばかやろう」などが該当します。

相手の人格を否定したり、暴言・脅しなどは他の要素と相まってパワハラと認定されています。

グループ就業の先輩会員が「指導」のつもりでパワハラまがいの行為をする可能性もあります。当人は熱心な「指導」のつもりでも、場合によってはパワハラに該当することもありますので、言動には注意しましょう。

当センターはパワハラを許しません。仮にパワハラを受けたと思う会員の方は、事務局の業務係までご相談ください。内容によっては、就業規約や措置規則に基づき厳正な処分をいたします。

## フレイル予防運動のご紹介 ～元気な体で安全就業を！～

### 座って「背伸びの運動」

- ① 背中を伸ばして座る
- ② 両手を耳の高さに挙げる
- ③ 両手を天井に向けて伸ばす
- ④ 5秒ほどキープして元の位置に戻す

※はじめは3回程度から、徐々に回数を増やしていきましょう(最大10回程度)



写真:越谷市シルバー人材センターフレイル予防講座

# 入会のご案内

越谷市シルバー人材センターでは、働く仲間を募集しています。生きがいの充実や、地域社会のために仕事をしたい方はお気軽にお問い合わせください。

1

説明会  
参加申込

## まずは説明会への参加申込みを

説明会は毎月開催しております。開催日程をご確認のうえ、お申込みください。お申込はお電話の他、ファックス・郵送でも受け付けます。

※ お問い合わせはお気軽にセンター窓口またはお電話（048-967-4311）で。



説明会のご案内は地区センターにチラシ設置の他、当センターホームページでもご覧いただけます。

2

入会説明会  
接遇研修会

## 納得いくまで聞いてください

シルバー人材センターで働くことの意義やしくみ等を担当委員が詳しく説明いたします。ご不明な点があれば、納得のいくまで聞いてください。



入会説明会では、事業内容を詳しくお話しします。

3

入会  
登録

## 登録、そして仕事へ

シルバー人材センターの趣旨にご賛同いただけたら、登録となります。得意なこと経験があることなど、ご希望の仕事で地域に貢献していきます。



入会登録会では、お一人おひとりのご希望を伺います。

### ※ 納得して入会していただくために、ご注意ください

- ①センターは自主的な会員組織で雇用・就職ではありません。
- ②入会後の収入や就業機会の保障はできません。
- ③ご紹介できる仕事は臨時的・短期的、又は軽易な仕事に限られます。
- ④センターの運営費として年会費（2,400円）がかかります。
- ⑤雇用保険、健康保険等の社会保険に加入はできません。

### 編集後記

4ページと5ページに、当センターの設立間もない時期から事務局職員となり、今日まで長きにわたり発展を支えていただいた、当センターの新井職員、後藤職員に事務所の移転等を含む「あゆみ」を振り返っていただきました。県内6番目の「高齢者事業団」として発足してしばらくは、まだ認知度は低く越谷市内の事業者様、個人発注者様への周知活動あるいはセンター会員の募集活動など言わば「生みの苦しみ」や「やりがい」も強く経験されたことと推察します。おかげさまで、今日、事業規模も事務所の態様も当初から比較すれば大きく発展し、地域社会にしっかりと根づくことができたように思います。人生100年時代といわれるような超高齢社会の中で、「自主、自立、協働、共助」という設立の理念に加えて福祉的な要素「生き甲斐、健康、繋がり」などにも積極的な関わりが求められていると感じているのは編集子だけではないのではないかと思います。

中澤 廣一（広報委員会 副委員長）